

叙勲・褒章 受章おめでとうございます

田代 義明さん（下座倉）、所 美佐子さん（西方）

町政の発展に尽力

田代 義明さんが旭日単光章を受章

元町議会議員の田代義明さんが旭日単光章を受章され、11月21日に町役場で宇佐美町長より勲記と勲章が伝達されました。

田代さんは、平成11年4月から4期16年にわたって町議会議員を務め、この間、議長・副議長、民生建設常任委員会委員長や第五次総合計画推進調査特別委員会委員長等の要職を歴任され、町議会の円滑な運営と地方議会の振興発展に尽力されました。



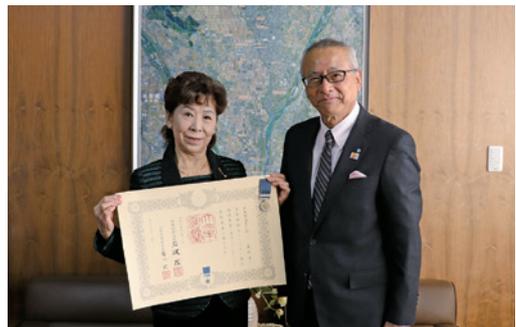
▲受章した田代さん（左）

更生保護に尽力

所 美佐子さんが藍綬褒章を受章

保護司の所美佐子さんが藍綬褒章を受章されました。

所さんは、平成15年5月から20年以上にわたり、保護司として西濃地域の犯罪や非行を行った人の更生のため、対象者と真摯に向き合い、立ち直りをサポートしてきました。現在も、社会復帰に向けた支援の他、駐在保護司として保護観察が開始される前の調査面接・調査票作成業務にも従事するなど、幅広く活躍されています。



▲受章した所さん（左）



▲250万人目となった大場さんご家族（中央）

来場者250万人を達成 道の駅「パレットピアおおの」

道の駅「パレットピアおおの」の来場者が250万人を達成したことを記念し、12月5日にセレモニーが行われました。

250万人目となったのは、神戸町から訪れた大場友里江さん、永絆ちゃん、櫻人ちゃんご家族。大場さんは「ここは、子育てはうす『ばすてる』や『ふわふわ広場』（芝生）があり、買い物以外の魅力もある施設。こどもも飽きることなく一緒に楽しむことができる」と話していました。

セレモニーでは、町長と東駅長からパーシーちゃんとローズちゃんのぬいぐるみ、町の特産品である富有柿や大野の太鼓判セットが贈られました。

災害時にドローンの活用を

（株）大垣自動車学校と防災協定を締結

12月5日、町は（株）大垣自動車学校との間で、災害時等における無人航空機（ドローン）の運用に関する協定を締結しました。

今回の協定により、災害時において同社の所有するドローンを、人が立ち入れない現場の状況確認、人命救助や復旧活動等で活用する予定です。

同社の岡田正昭代表取締役が「災害時に皆さまの安心・安全の一助となるよう活用していただきたい」と述べると、町長は「今回の協定は本町の防災・減災対策の充実に大きく寄与するもので、町民の皆さんの災害時における安全確保をより一層図ることができます」と謝辞を述べました。



▲協定書を手にする岡田代表取締役（左）



防火防災の誓いを新たに

令和7年消防出初式



▲記念撮影（副分団長以上）



▲一斉放水の様子

1月12日、新春を飾る恒例の消防出初式が、総合町民センターにて開催されました。ふれあいホールにて多数の来賓を迎えて行われた式典では、消防活動に功績のあった36人に表彰状が贈られました。また、式典終了後には三水川河畔にて消防団員による一斉放水が行われ、団員のきびきびとした動作に観客から大きな拍手が贈られました。

被表彰者は次のとおりです。（敬称略）

岐阜県知事表彰（功労章）

桐山 真司 松岡 勇佑

岐阜県知事表彰（消防団員優秀家族賞）

長沼 叔子 野村 貴子 國枝 あい

町長表彰（勤労章）

内藤 智仁 岡田 勝幸 長瀬 圭輝 河合 佑真
南谷 匡 後藤 義史 佐藤 達哉 中山 和也
眞鍋 周至 戸高 恭佑 桑原 拓也

岐阜県消防協会長表彰（功績章）

田神 聰志 坂 吉将 細川 顕 松永 陽平
関野 洋利 河村 拓也 長田 大

揖斐郡消防協会長表彰（功績章）

平沢 奨吾 内木 和博 河野 友亮 中込 大

団長表彰（功績章）

川口 真吾 佐藤 久晃 青木 哲平
若原 健二 小森 和哉 鳥本 吉寿
箕浦 祐貴 飯沼 龍 八木 隆宏

決意も新たに

大野町二十歳を祝う会

1月12日、総合町民センターにて「大野町二十歳を祝う会」を開催しました。

当日は晴天に恵まれ、華やかな振袖やスーツに身を包んだ203人（対象者258人）が出席し、懐かしい友人やご家族と歓談する光景があちらこちらで見られました。

式典では、町長や来賓から厳しくも温かい言葉が贈られ、二十歳の代表原田聡一さんも堂々と「二十歳の決意」を披露しました。後半は二十歳を祝う会実行委員会が様々なアトラクションを進行し、会場を大いに盛り上げました。

二十歳を迎えた皆さん、誠におめでとうございます。



▲堂々と「二十歳の決意」を表明する原田さん



▲アトラクションで盛り上がる出席者

長寿のお祝い

95歳おめでとうございます これからも健やかに



西部 シゲルさん（黒野）
昭和4年12月6日生まれ

竹中 富江さん（公郷）
昭和4年12月14日生まれ



防災マット導入

町内小中学校

避難所環境や学習環境の改善のため、岐阜県「清流の国ぎふ SDGs 推進ネットワーク連携促進補助金」を活用し「防災マット」を各小中学校に導入しました。

通常は、児童生徒が学校の椅子のクッションとして使用し、災害時には、クッションをつなぎ合わせて避難所のマットレスとして使用します。

また、この製品は自動車部品等の製造過程で発生する廃材を再利用して製作されており、SDGs や防災等に対する意識向上のため、製造業者と共同で小学校にて出前授業を実施しました。



▲出前授業の様子



▲児童がマットレスとして使用する様子

児童が重機体験をしました

大野小学校課外授業

11月18日、大野小学校3年生約60人が地元企業の協力のもと課外授業に参加しました。参加した児童は、町より名鉄廃線敷整備事業の説明を受けた後、企業よりバックホウや高所作業車等の説明や重機体験を通して、地元企業の魅力や土木事業について学ぶことができました。



▲白山建設杉山社長の説明の様子



▲重機体験の様子

学校教育振興のために

大野中学校四期卒業生一同 寄付

12月13日、大野中学校四期卒業生の代表 林信之さんが来庁し、大野中学校の教育振興に役立てて欲しいと現金23万円を寄付しました。

いただいた寄付金は、大野中学校の児童生徒のために活用させていただきます。

良書に囲まれた環境で、こども達の夢と希望が育つことを願って

岐阜県民共済生活協同組合

岐阜県民共済生活協同組合（林直美代表理事理事長）より、社会貢献活動の一環として「良書に囲まれた環境で、こども達の夢と希望が育つことを願って」との思いから、児童書89冊、オリジナル焼印、木のしおり、ぬいぐるみが図書館に寄贈され、12月24日に図書館で寄贈贈呈式が行われました。

寄贈していただいた児童書は、図書館で全て貸出可能です。

オリジナル焼印と木のしおりは、来年度のこどもの読書週間で活用予定です。



▲児童書を手渡す林代表理事理事長